

豊岡市日高町、鶴岡橋から少し下流に遺構が残る「大保恵堤（左側）」。  
かつてはもう少し上流から豊岡盆地にかけて、出石川にも築かれていた。



長さ1キロ、幅100メートルにも及び近畿地方でも有数の規模を誇る河畔林(豊岡市日高町上郷)



幾度となく大洪水を繰り返してきた円山川、  
治水対策を資金も技術もなかった江戸時代から学ぶ。

# 洪水の知恵「大保恵堤」

私たちの生活に恵みをもたらしてきた円山川。しかし、ひと度大水になれば、大洪水を起こし、周辺流域の人々は水害に悩まされてきました。円山川の歴史は、水害の歴史といっても過言ではありません。

円山川の下流部はほとんど勾配がなく流れがゆるやかで、大改修前は曲がりくねっていたため、雨水がなかなか海に流れず、こうした特異性が何度も洪水を引き起こしてきました。

統計によると、大正5昭和初期に行われた円山川大改修以前は、「2年に一度」の割合で洪水が起こっていたようです。嘉永3年(1850)の大洪水では、豊岡で上水位約6.5メートルを記録し、「古今未曾有」と書かれています。

特に江戸期は、同じ但馬国といっても藩が政治を取り仕切っていた時代。流域は豊岡藩、出石藩、天領に分かれていたため、お互いの利害関係が一致せず、統一の河川改修工事は実現し

ませんでした。もちろん小藩ゆえに財政的にも厳しく、また、大改修を行うだけの土木技術も持ち合わせていなかったことも理由に挙げられます。

しかし、そうした厳しい状況の中でも、知恵をしばって生み出された江戸時代の治水の跡が、今も豊岡市日高町上郷に残っています。

大保恵堤と呼ばれるこの人工堤防は、六方平野を洪水から守ると同時に、増水時の出石川、円山川の洪水を貯留させる機能を持っていました。大保恵堤は高さがなく、洪水の時

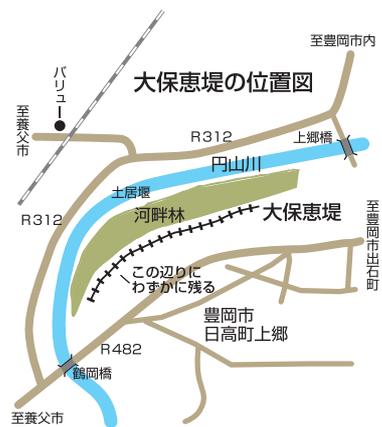
川の水はこの堤を乗り越えて入ってきますが、次の備えである立派な出石道(国道482号)が堤防の役割を果たして、水をくい止めます。

そして、一時的に堤と堤の間に水が溜まることにより、下流へ流れる水の量が減り、洪水の勢いを軽減させるという効果をもたらしました。

これは、無理にせき止めず、水の勢いを土地に引き入れて弱めるとい

う、現代でも治水対策のひとつである「遊水池」の発想だといえます。現に大保恵堤はところどころ断続しており、遊水池となった場所には、年貢に影響する田んぼは作らず、畑地としました。

さらに、堤の前には水防林の役目を果たした河畔林が広がります。上郷の集落は、三重の防御で守られていたのです。まさに、資金と技術がない中で考え出された治水対策。昔の人の知恵には頭が下がります。



改修工事などにより埋められ、現在は上郷地域でわずかに見られる大保恵堤。見た目はささやかな堤防ですが、その裏側には先人の努力が何重にも積み重なっています。江戸時代の治水の歴史を伝える重要な遺構といえるでしょう。

協力：豊岡市史料整理室  
参考文獻：豊岡市史

国土交通省豊岡河川国道事務所

## まごころ1番店を目指す!! 不動産のライフフィット!



株式会社 ライフィット

<http://www.lifit.jp/>

(社)兵庫県宅地建物取引業協会 | 宅地建物取引業者免許 | 兵庫県知事(3)650061号

●ご希望の物件を検索できます。詳しくはホームページをご覧ください。

●大好評!情報誌「ライフフィットタイムズ」無料進呈中!!

アパート・マンション・貸家・土地・中古住宅・店舗の売買など、なんでもライフフィットへお気軽にご相談ください。

**本店**  
豊岡市幸町4番4号  
TEL.0796-24-2011  
FAX.0796-24-2077  
E-mail:nfo@lifit.jp

**豊岡駅前店**  
豊岡市大手町1番27号  
TEL.0796-26-6565  
FAX.0796-26-6566  
E-mail:tekimae@lifit.jp



土・日曜も営業しています!  
お気軽にお立ち寄り下さい!

**和田山店**  
朝来市和田山町玉置1107-4  
サンライズ和田山102号  
TEL.079-672-6565  
FAX.079-672-6566  
E-mail:wadayama@lifit.jp



# 但馬街道

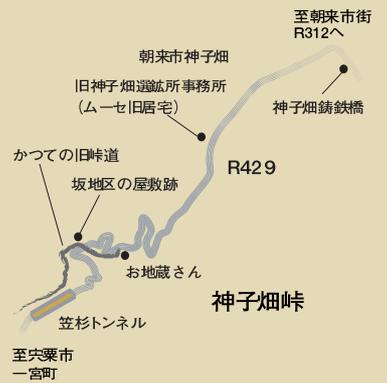


## 神子畑峠

みこばたとうげ

【朝来市神子畑～宍粟市一宮町】

国道429号として、  
但馬と播磨を結ぶ神子畑峠。  
かつて険しい山道を越えて、  
鉱山の町に人々が行き交った。



かつて鉱山の町として栄えた朝来市神子畑。800年頃から鉱山として開拓され、一時衰退しましたが、明治11年に鉱脈が再発見され、生野鉱山の支山として稼働しました。

大正6年に閉山した後も、隣町の

明延<sup>あけのへ</sup>鉱山(養父市大屋町)で産出された鉱石をスズ、銅、亜鉛などに分け、全国の製錬所に送る選鉱所として活躍しました。東洋一といわれた巨大な選鉱施設も、昭和62年、明延鉱山の閉山とともに操業停止。現在は一部が取り壊され、当時の面影を残すものは少なくなりました。



鉱山の歴史を伝える旧神子畑選鉱所事務所

ここからさらに国道429号を宍粟市方面へ行くと、その昔、但馬と播磨の国境であつた神子畑



(上)かつて峠付近にあった坂地区の屋敷跡が残る(下)険しい山道が狭く旧道の

峠が見えてきます。昭和56年に笠杉トンネルが開通するまでは、車で宍粟市へ抜けることはできず、皆、険しい山道を往来していました。

今ではこの峠道を利用する人はいませんが、峠の入り口には安全を祈願したお地藏さんが安置されています。また、頂上付近にも同じような地藏があり、厳しい道だったことが伺えます。

この峠は主に、神子畑と宍粟市一宮町の人々が行き来する生活道として使われていました。神子畑選鉱所が最盛期



旧道の入り口に残るお地藏さん

また播州からは、草相撲の力士も、峠を越えて神子畑へやってきたといわれています。以前は各

の村、黒原地区のお年寄りの話では、よく峠を越えて、神子畑まで映画を見に行ったそうです。

製錬所跡の近くに住む山内さんも、「映画は日替わり上映され、よく通つたものです。町に出る必要がなく、生活用品のすべてが手に入ったのですよ」と、当時の華やかさを話してくれました。

の昭和30年代には、神子畑の集落には映画館やパチンコ、居酒屋などの娯楽施設があり、食料品も買うことができたといえます。宍粟市側のふもと

地で、秋祭りなどの祭礼時に神社で興行されていきました



笠杉トンネルの開通で、播州へ車での往来が可能になった

わざ力士や行司を呼びよせたそうです。これも神子畑の繁栄ぶりを示す貴重なエピソードといえます。

但馬と播磨を繋ぐ神子畑峠。平成5年には県道から国道に昇格し、兵庫県の東西を結ぶ幹線道路として、車の往来が絶えることはありません。現在国道は「鉱石の道」として活用が検討され、国指定重要文化財の「神子畑鑄鉄橋」に代表される鉱山遺構が往時の様子を伝えています。協力：山内直直さん

国土交通省豊岡河川国道事務所



お客さまの目線で  
お客さまを最優先に  
ありがとうございます気持ちを込めて

Together With You

但馬街道  
但馬 播磨